

## 2003年度 病理学各論卒業試験問題

1) 以下の関連のなかで正解はどれか(1つとは限らない)。間違いのあるもの、或いは頻度の低い部分を含むものを選び、それを訂正し、正解および、それについて知るところを記せ。

- a. 鉄欠乏性貧血 悪性貧血 胃全摘後
- b. AML(M3) Auer小体 DIC グリベック
- c. 消化管の粘膜下腫瘍(GIST) c-kit陽性細胞 トラスツブマブ
- d. RB遺伝子 骨腫瘍 癌抑制遺伝子 Codman 三角
- e. 胎児水腫 ヒトパルボウイルス B-19 感染症 RH(+) 心奇形
- f. 70歳男性の汎血球減少 MDS 再生不良性貧血 白血病
- g. 結核(グラム染色)-- 腎生検(電子顕微鏡検査)-- マルフアン症候群(酸性ムコ多糖染色)-- 真菌(グロコット染色)

2) 肺に線維化を来す疾患を列挙し、それぞれについて形態学的特徴(マクロ、ミクロ)を簡単に記せ。

3) 大腸の非腫瘍性ポリープには過形成性ポリープ、炎症性ポリープ、過誤腫性ポリープが代表としてあげられるが、それぞれについて説明せよ。

4) 以下の3つの腎糸球体病変について、それぞれの違い、特徴がわかるように臨床的所見、光顕・蛍光・電顕レベルでの病理学的所見についてのべよ。

微小変化群

膜性腎炎(腎症)

膜性増殖性腎炎